

ECHIGO ICHIE



一般社団法人 新潟県建築士事務所協会

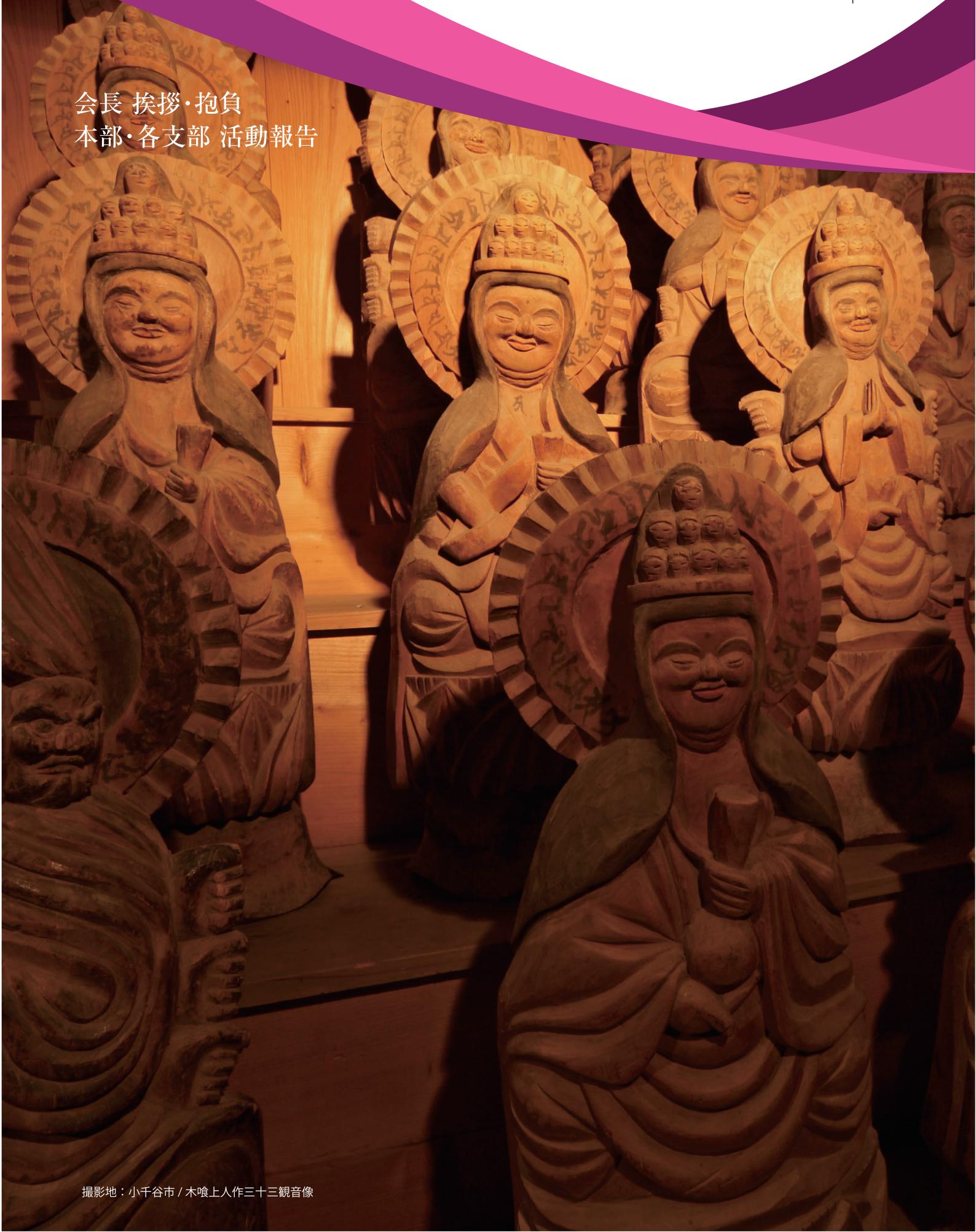
越後一会

Vol.35

2023

WINTER

会長 挨拶・抱負
本部・各支部 活動報告





一般社団法人
新潟県建築士事務所協会
会長 本間 裕之

年頭のごあいさつ

あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染の影響も拡大や縮小を繰り返しながら数年が過ぎ、政府も5月の連休明けから第5類へ移行する方針が出され様々な活動が以前のように戻っていくようになります。建設業関連において多くの影響があり、ウッドショックに始まった建設資材関連の高騰や半導体不足による工期の遅れなども常態化しております。このような中2050年のカーボンニュートラルの実現に向け住宅・建築物においても様々な取り組みが行われており、2030年までに目指すべき住宅・建築物の姿に向け、2025年4月（予定）から省エネ基準への適合義務や省エネ基準の見直し、さらに建築基準法の改正など、多くの事柄に対応を迫られてきています。これに対応するべく様々な活動を考え、実行していきたいと考えております。また、高齢化が進む建築設計業界への対応策として、建築へより一層興味を持つてもらえるように、高校や大学へ出前講座や座談会を実施する活動を行っております。昨年には協会内に「青年部会」を立ち上げることができました。これにより全国の同じ世代の設計者との交流や、他県での活動を感じてもらい、多くの刺激を新潟県へ持ち帰って反映させることや、会員同士の親睦を深める事を目的としております。会員各位の皆様の協会事業へのご理解とご協力をお願い致します。最後に皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げ年頭のあいさつとさせていただきます。

学生座談会 / 総務・財務委員会 大崎 拓也

11月1日、長岡造形大学にて津村泰範先生進行の下、座談会を行いました。今回は建築・環境デザイン学科の「キャリア計画実習」の授業の一環として開催、リモートも含め約80名の学生が参加しました。協会を代表して3名が登壇し、設計を志した経緯や思い出に残る出来事、実務との違いや失敗談、今後の展望について述べ、最後に学生へのメッセージを送り、質疑応答という形で進められました。実際に進路を決める前に、第一線で業務をこなす現役建築士の生の声を聞くことは貴重な経験であり、進路決定だけではなく、将来実務の場で何かの役に立つ事もあるのではないかと思いました。今後もこのような機会を設け、新潟県の建築に携わる人材育成の一助となる活動ができればと思います。



高校出前講座 / 業務・技術委員会 委員長 渡辺 文司

7月19日に新潟工業高等学校において建築士後継者育成を目的に高校出前講座を開催しました。二年生が対象で1限目は藤田講師よりご自身の経験を交え進学することで学べること、ひとつの建物ができるまでなどを紹介していました。2限目は新潟工業の卒業生で生徒と年代の近い若手設計士に講師になっていただき大学で学んだこと、就職活動、設計事務所での仕事について紹介していただきました。年齢が近いこともありより身近に感じ受け止めてくれたと思います。生徒の皆さんメモを取りながら興味深く熱心に受講しており質疑応答の時も活発に質疑を出していただきました。生徒の皆さんには建築設計の面白さを充分に伝えることができたと思います。



支部活動報告

下越支部

■事業委員会 委員長 菅原 真司

研修旅行を令和4年11月11日～12日に16名の参加者で開催いたしました。富山県で幾つかの施設を2日間掛け駆け足で見学してまいりました。初日は「とやまガラス美術館」／隈研吾、そして「高志の国文学館」／伊藤恭行。2日目には「黒部市国際文化センター(COLARE)」新居千秋、「富山美術館」／内藤廣、「北前船回船問屋森家」と見学しました。ガラス美術館は当研修旅行で以前も訪れた方もいらっしゃいましたが、初めて訪れた感想としては2階から6階までの斜めのボイドは圧巻の一言でした。参加者の皆様にはコロナ対策のルール遵守にご協力頂き感謝申し上げます。



■新潟建築文化研究会 会長 高田 政俊 / (株)たかだ

当会では21の会とも連携し、屋外での事業限定で幾つかの事業が開催の運びとなりました。これからも感染対策に留意し、徐々に活動の機会を増やしていきたいと思います。昨年6月の本年度の当会総会は総会のみで協会下越支部理事との懇親会は断念致しました。新年度は総会も含め状況が許されればこちらも再開を願っております。建築業界は資材欠品が続き昨年は建設資材のみならず諸物価の異常な高騰により経済活動が停滞するという事態になりました。この時こそ正会員と私たち賛助会員の情報共有などによる官民の建設工事の遂行が必要を感じております。これからも当会会員を引き続き宜しくお願ひいたします。



■中越支部長 小池 美鶴

今年度の活動報告です、昨年度まではコロナ禍で中止が相次ぎ会員同士の接触がゼロ状態、1年ほど前からイベントを待つ声が聞かれるようになり、顔を合わせる事の重要性を感じておりました。毎回開催時期が問題になるのですが、感染から公表までに2週間程度のタイムラグがあることに着目したところスケジュールの検討が容易になりいくつかのイベントが実行できました、内容も会員皆様のお蔭様で盛況にしていただきコロナ禍の空白を埋める良きスタートになったと思っております。今後もイベント案内にご注目・ご参加をお待ちしております。



■中越支部協議会 会長 池田 明彦 / (株)池田組

新型コロナウイルスの蔓延により、この3年間、閉塞的な社会環境におちいり、行動が大きく制限されてきました。そんな中、私達事務所協会の行動も大きく影響を受けてきたここ数年であったかと思います。ようやくその影響もうすまりをみせ、政府の方針の変更を受けて、通常の生活活動が許されるような社会環境になってきました。私の中越支部としても、昨年末の忘年会も会長の方針により、通常通り執り行い、少しずつ普通の活動に戻して行っている状況かと思います。今年度も協議会として、事務所協会の活動を少しでもサポートできるように、活動して行きたいと思っています。

上越支部

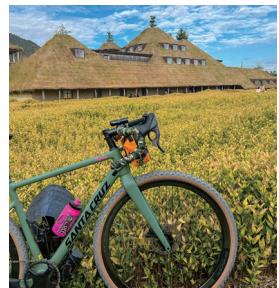
■上越支部長 植木 厚祐

●10/21、妙高カントリークラブにてゴルフコンペを開催。9名の参加で交流を深めることができました。●11/28、高田ターミナルホテルにて設計研修会兼忘年会を開催。研修会では、新潟建築確認検査機構長岡支店様より、建築基準法改正に伴う4号特例の縮小、省エネ適応提出の注意点等を研修内容としてご講義頂き、忘年会も大盛り上がりいました。●1/31、松風園藤作にて、研修会兼新年会を開催。研修会では福井コンピューターーアキテクツ(株)様よりBIMの最新動向等のご講義を頂き、新年会も皆様と有意義な時間を過ごすことができました。



■上越建築同志会会长 江口 武 / (株)江口金属

上越建築同志会では比較的withコロナでの活動を予定通り行うことが出来た一年でした。昨年の目標にIT化を進めて会員各位の活動の幅を広げていく事を掲げておりましたが、既にIT化という言葉自体が古くなり、僅か一年でDXという、もっと大きく深いデジタルビジネスにフォーカスされています。建築の世界ではどうしても紙をベースとしたアナログ要素主体の部分がまだまだ拭い切れませんが我々賛助会員も改めてこのDX時代に乗り遅れることの無いよう変革と対応を怠らず邁進する所存です。私事ですが昨年晚秋に創立60周年記念公演の藤森先生の作品を百聞は一見に如かずと言う事で近江八幡まで自転車で見学をしに行ってまいりました。片道400キロの達成感と素晴らしい作品を目の前で体感できて大変感動を致しました。今年もどうぞよろしくお願い致します。



トピックス/令和4年度日事連建築賞にて「森の潜水艇 ホップこども園 森棟」株式会社高田建築設計事務所が奨励賞を受賞されました。日事連2022年10月号に掲載されましたので改めて紹介させていただきます。

◆森の潜水艇 ホップこども園 森棟 (株)高田建築設計事務所 | 新潟会



ジャングルのように荒れていた庄屋の屋敷森を再生したこども園の計画。かつてその森で遊んでいた子どもが近隣のこども園長となり、子どもたちの心身を豊かにする「あそびとまなび」の教育を実現する場として、設計を依頼された。建物への命題は、子どもたちを森に還し活発な交流を促進できる機能と意匠であり、怖がらずに自然に積極的にアクセスする気持ちを引き出すため、「森の潜水艇」をコンセプトとした建物では、帰還、発見、共有の3つのテーマのもと、設計を行った。

建設地	新潟県長岡市
用途	幼保連携型認定こども園
構造	軽量S造
階数	地上1階
敷地面積	2,079.08m ²
建築面積	347.40m ²
延面積	263.31m ²

行事・講習会等インフォメーション

4月17日	(月)	第1回理事会	白山会館
5月18日	(木)	下越支部通常総会	A N A クラウンプラザホテル新潟
5月22日	(月)	上越支部通常総会	高田ターミナルホテル
5月26日	(金)	中越支部通常総会	長岡グランドホテル
5月26日	(金)	定時総会	長岡グランドホテル
9月5日	(火)	建築士定期講習	新潟テルサ
9月21日	(木)	建築士事務所の管理研修会	アトリウム長岡
9月22日	(金)	建築士事務所の管理研修会	新潟テルサ
9月28日	(木)	建築士定期講習	アトリウム長岡
10月13日	(金)	建築士事務所全国大会(鳥取・島根大会)	米子コンベンションセンター (BIGSHIP)

新入会員のご紹介

■正会員

会員数 2月末現在/正会員 正会員309/賛助会員197

事務所名	開設者	住所	TEL	FAX
atelier 8	和田 紗緒理	燕市高木148	090-4710-2345	-
砂塚構造設計事務所	砂塚 秀知	新潟市中央区万代5-7-1-1502	025-288-1567	025-288-1567
(株)高田建築事務所	高田 清之介	長岡市揖田屋5-6-22	0258-36-1230	0258-35-8185

■賛助会員

事務所名	代表者	住所	TEL	FAX
(株)日本トリム新潟営業所	丸山 雷太	新潟市中央区東大通1-2-25北越第一ビル10F	025-242-0220	025-242-0222

あとがき

明けましておめでとうございます。

本誌にて各活動を紹介させて頂いておりますが、感染症に対する報道方式が変わったことやワクチン接種が進む中で、各支部においてもさまざまな活動が再開されつつある様に見受けられます。コロナ感染症の第5類への移行も予定されており、長かったトンネルの出口が見えてきた様な感覚を感じております。このコロナ禍で「リモート」という新たなツールも一般化はしましたが、やはり直接顔を合わせてのコミュニケーションの大切さを実感された方々も多かったのではないでしょうか。

引き続き協会活動を紹介させて頂きたいと考えておりますので、皆様の活発な活動をご期待申し上げ
ご挨拶とさせて頂きたいと存じます。

広報・組織委員長 石渡 光輔

ECHIGO ICHIE

Vol.35 2023 WINTER

発行:令和5年2月

発行所:一般社団法人新潟県建築士事務所協会

会長 本間 裕之 担当副会長 橋詰 敏一

編集 委員長 石渡 光輔 副委員長 清水 泰介

副委員長 堀井 崇寛



一般社団法人 新潟県建築士事務所協会